

大成ロテック
九州支社長

もりた ひろし
森田 宏司氏

支社長



「現場第一主義」をモットーに

1981年の入社以来、40代半ばまで建設省、国土交通省が中国地区で発注する道路工事など現場の最前線で活躍。2018年4月に赴任した北海道支社を経て現職に就いた。現場たたき上げの支社

長として掲げるモットーは「現場第一主義」。自身を含む支社幹部が精力的に現場に出向きながら現状と課題の把握に努め、「支社、営業所、工事事務所、合材工場が一体となった「ワンチーム九州」

で活動していきたい」と意気込みを語る。

本年度が現中期経営計画の最終年度、来年度が次期計画の初年度。「今やるべきこと

座右の銘は「七転八起」。支社スタッフには失敗を恐れず、諦めないで何度も挑戦していく必要性を説く。

にスピード感を持って取り組みながら、新計画に対応できる基盤づくりも進める」。

休日はテレビを通じた各種スポーツ観戦で英気を養う。野球は小さい頃からの熱狂的な広島東洋カープファン。

とりわけ元請工事の拡大を目指す社の方針にも沿い、公

身、57歳)
(4月1日就任。広島県出